

<テーマ>

まちの賑わい創出

「コンセプト」

「交流が盛んなまち」

1. 町民の世代間交流ができる場

- 空き家（空き店舗）等を活用し、いつも気軽に集まれる場
- 子どもからシニアまで元気に生き生きと交流できる場
- 若い人のイベントスペース（やりたい事を自由にできる）
- 小さなビジネス

2. 近隣地区との連携

- 祭り等の地区運営の助け合い

3. 町外者との交流（交流人口の増加）

- 一年を通してまちに多くのお客さんが訪れる
- 体験型事業（まちづくり会社等）
- 小さなビジネス

4. まちの宝や魅力を町内外に情報発信

- 他の市町村で、朝日町の話が出る。「〇〇と言ったら朝日町」
- 町の事を町民が知っている事で話になり、協力し合える



「活動アイデア①」

タイトル 「新しい交流の場づくり」

内容

(A) 「蔵の広場や豊龍の丘の活用」

- カフェコーナー
- 若い人のイベントスペース
- 朝市、シニアの野菜や工芸品売り場
- お母さんのフリマ
- 古本の回収→こども古本図書館
- 古本市（商店街のスペースも活用）
- コンサートの開催



(B) 「四季を感じる事ができるリアル体験型のパークを創る」

- りんご・あけび・山菜等のもぎ取り、ハケゴ作り体験
- シニアの野菜作り名人直伝の野菜づくり体験
- 炭焼き体験
- 凍みもち等の伝統料理、昔の遊び体験、最上川ラフティング、カヌーや釣り体験等

いつから実現

(A) H29～（できるものから）

(B) H30～

誰がどんな役割

(1) 自分たち（町民）

- まちづくり会社の立ち上げ
- 作物の生産、リサイクル用品・古本の提供等
- 豊富な経験や技術の提供、運営
- 賛同者協力者の話し合いによる意見調整（複数のリーダー）

(2) 行政

- 町内外へ関係情報発信
- 関係者間の調整（世代間、地域間の横のつながり）

(3) 関係者

- ミーティングの開催
- 運営支援（商工会・商店街・観光協会との連携）
- 地域おこし協力隊との連携



「活動アイデア②」

タイトル 「地域サポーターバンクの結成」

内容

- 祭り等の地区運営の助け合い支援
- 新しくやりたい事の実現支援

いつから実現

- H30：やりたい人や企業（農・工・商）を募集
- H31：活動スタート

誰がどんな役割

(1) 自分たち（町民）

- できない事やりたい事等のアイデアを出し合う
- サポーターバンクへの登録

(2) 行政

- 町内外へ関係情報発信
- 募集
- 地域の調整

(3) 関係者

- 地区代表との連携
- 地域おこし協力隊との連携
- 学生の連携協力

